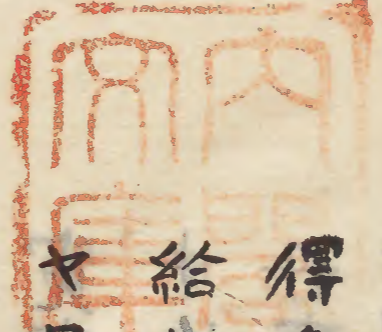


一乘院御門跡大覺寺御門跡杯八御代六之
内親王ヨリモ攝家ヨリモ御繼被成候儀有
之候
一妙法院宮圓滿院宮杯八御代六親王家ヨリ
御繼被成候但攝家ノ御子ナレハ宮家ノ御
養子ニ被爲成候而御繼被成候
一大乘院御門跡杯八御代六攝家ヨリ御繼被
成候但親王方ニテモ攝家ノ御養子ニ被爲
成御繼被成候
一親王家ヨリ御繼被成候ノ宮門跡ホ云五攝

家方ヨリ御繼被成候ノ攝家門跡ト云
寛文三年卯ノ十二月十日尾張中納言殿ヨリ老
中迄使者ヲ以テ去ル十月下旬尾州ノ内ニ切支
丹宗門ノ者有之ニ依テコレヲ捕拷問仕所其同
宗門貳百七人有之悉ク搦捕穿鑿候處最早無之
ニ付十一月十九日廿一日廿二日此三日ノ内ニ
右ノ者共不殘斬罪仕候由言上アリ老中其露顯
ノ子細ヲ使者ニ尋テルニ奇妙ヨリ事起レリ
美濃尾張ノ境十ル百姓男二人女一人ヲ持テル
力美濃ヨリ尾張ノ方ヘ其女ヲ嫁セシム何レモ



中納言殿ノ領多十リカノ女嫁スル後三年ノ間
 父母ノ所へ來ラヌ是道ノ遠キ故也然ニ今年十
 月上旬カノ女父ノ方へ來ル父母喜テ様々ニ馳
 走ス此女父ノ方ニ在レ時好テ鶏卵ノフハフハ
 食フ母今度ノ饗應ニ卵ヲ求メ料理ニス女コ
 レヲ見テ無益ノ事ナリ此卵モ一サレク佛体ヲ
 得タル者十ルヲ只今迄ハ知ラスレテ食シタリ
 給ハルニシト云母間テイカテ卵カ佛体ヲ得ン
 ヤ日頃スキナレハ食スヘシト云ニ女云然ラハ
 只今佛体ノ證據ヲ見セ申サントテ鍋ノ中へ箸

ヲ入テ搔回シ煮ツメタレハ件ノ卵アリアリト
 長廿一寸ハカリノ佛像ノ如クナリタ母大ニ
 驚キ父ニ告ル父走來テコレヲ見レハ悉ク佛像
 ノ如シ母ハ手ヲ合セテ拜ス父ハ更ニ用ヒスレ
 テ云汝女姓ノ身トシテカクノ如ク奇妙ノ術ヲ
 顯ス不審ナキニアラス傳聞ク切支丹宗門ハカ
 クノ如クノ奇妙ヲアラハシ吾宗門ニ勸メ入ル
 ノ由ナリ按スルニ汝カ夫ハ切支丹ニテ汝ニカ
 ク魔術ヲ相傳シ親兄弟ヲ勸メントテ差越タル
 者十ルヘシ汝ヲ卒爾ニ宿所へハ歸スヘカニス

トテ子共兩人ニ堅ク申合其身ハ名護屋へ來リ
切支丹奉行へシカシカノ由始終ヲ詔ル仍テ奉
行所ヨリ足輕ヲ遣シ彼等ヲ搦捕拷問スルニ果
シテ切支丹ノ由白狀スコレニ依テ其同類ヲ指
ヘクト云ニカノ男イテ通路仕同宗門ノ者ハ僅
ニ十人ニハ過ヘカラス美濃尾張兩國ノ間ニ有
之宗門ノ者一二百人モアルヘク然レトモ知人
ニアラスト云奉行云彼者共ヲ捕ヘキ術アルニ
シクヤト問フ男力サテ云術アリ彼宗門ノ者
ハ兼テ互ニ申合セ髮ノ結様帶ノ仕様ニ式法ヲ

定メ置候間所々ノ市毎ニ出テ見候ハ、知ルヘ
ク候ト云大勢ヲ捕ニニハ汝夫婦ハ余ヲ助クヘ
シトイフニ男全ク余惜ト存セス然上ハ助余ノ
望ナシ但同類ヲハ見出告ヘシトテ諸方ノ市毎
ニ出テ指ス者ヲ搦捕カシメトリシタル程ニ貳
百餘人ニテ生捕テ悉ク斬罪仕候彼夫婦ハ人多
ク捕タル褒美トシテ余ヲ助クヘクノ間轉テ他
宗ニ成候ヘト様々申ケレトモ宗門ヲ改メ助余
ノ事更ニ無益ナリトテ終ニ誅セラル女ノ親ハ
早ク申出タルニ依テ無別條褒美ヲ賜ハル女ノ

命ヲ申請フ人間宗旨ヲ改メ御助可有之ト申ト
イヘトモ夫既ニ誅セラレ又吾一人助カルト望
ニアラス刹宗門ノ事是亦叶フヘカラストテ女
モ終ニ斬ラレケルトイフ邪宗ノ幻術ヲ以テ衆
ヲ惑ハシ黨ヲ結ヒ身命ヲ惜ムス禍害ヲ醸ス
何レノ時何レノ處トシテカナシトイフヘカラ
ス畏ルヘキノ甚シキナリ
願人坊主ハ鞍馬大藏院圓光院兩觸頭ノ支配ヲ
受ル其式目ノ大概左ノ如シ

文ノ遺跡口上之覺

一願人名目之儀者源義經公奥州下向之節
拙寺坊人之内兵法虎之卷傳授仕候者其
本尊多間天江心願有之御供仕候砌御武
運之被為開候為故源公願人ト被稱候付
拙寺ニ而坊人ヲ願人ト申候古實ニ御座
候處所謂坊人ト申者諸國徘徊仕加持祈
禱等ヲ仕札守秘符ヲ勸メ候俗法師ニ而
御座候只今ニ至一山ニ而モ金院ニ而モ
多久有之候則願人茂許狀者一役ニ而御
座候但圓光院方願人モ古來者拙寺ヨリ